

2012年 全国民主主義教育研究会・1月中間研究集会

大震災と原発爆発、今、明らかにすることは・・・

2011年3月11日、東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故は、日本社会の基本的な構造を一変させました。放射能被害により、居住地が奪われ、多くの国民に生活不安が広がっています。地域・職場・学校も例外ではありません。これをどう解決していくのか国民的な課題になっています。全民研は、この事態に対し、現状に迫り、教育活動としての取り組みを明らかにしていくことが課題であると考えます。

日本国憲法の幸福追求権、生存権、個人の尊重をもとに下記のような2012年1月中間研究集会を企画しました。多くの方の参加をお待ちしています。

期 日 2012年1月5日(木) 午後1時～5時

同 1月6日(金) 午前9時～12時30分

場 所 東京・池袋(財)としま未来文化財団

豊島勤労福祉会館(裏面地図参照)

〒171-0021 豊島区西池袋2-37-4 Tel 03-3980-3131
交通 JR池袋駅・地下鉄池袋駅西口徒歩10分 メトロホリタン口より徒歩7分

日 程 **第1日目** (1月5日) 午後1時10分～開会

実践報告 「博物館と教員がコラボした ヒロシマとフクシマを考える教材づくり」
杉浦 真理 氏 (全民研常任委員 立命館国際平和ミュージアム専門員)

講演 1 原発に頼らない社会をめざして・・・

講師 田中 優 氏 (未来バンク事業組合理事長 立教大学大学院非常勤講師)
20年以上にわたり、原発のあり方と危険性を指摘してきたが、事故が現実の課題になってしまった今、どう脱原発・脱CO2の政策をすすめていくのかについて考える。

著書 「戦争って環境問題と関係ないと思っていた」(岩波ブックレット)

「原発に頼らない社会へ」(ランダムハウスジャパン)

「脱原発・再生可能エネルギー政策を」(「世界」2011・11月号)他。

講演 2 「原子力発電の真相は、マスコミ報道を繋げてみればここまでわかっていた
— 姿を現した深刻な課題と原発推進の裏事情 —」

講師 木内 剛 氏 (成蹊大学教授)

原発は多角的な教育課題、騙されない主権者をめざして・・・原発事故の深刻な実態とマスコミ報道から浮かびあがってきた課題を考える。

日 程 **第2日目(1月6日)** 午前9時10分開会

実践報告 **高校生が現代社会を主体的に考える授業—「オキナワとフクシマ」から考える
都会と地方・自立と連帯**

渥美 利文 氏 (高校教諭 公民科)

米軍普天間基地移設問題と、福島第一原発事故。ともに「地方」でおきている2つの問題を、「都会」の高校生が「自分たちの問題」としてとらえ、地方との関係をどのように築いていったらよいか、主体的に考えを深めていく。2011年9月に急きょ実践した授業の記録を報告します。

講演 3 **「3.1~3.11を考える—杉並の原水禁署名運動が語るもの」**

講師 **丸浜 江里子 さん** (元公立中学校教諭・歴史教育者協議会会員)

公立中学教員を退職した後、杉並区の中学校社会科教科書問題に直面し、教科書をめぐる住民運動に参加。杉並区で1954年に起こった原水爆禁止署名運動の研究をはじめ、第1回平塚らいてう賞奨励賞を受賞した。これまでの研究をまとめ、2011年春に「原水禁署名運動の誕生—東京・杉並の住民パワーと水脈」(凱風社、2011年)を上梓した。報告は、杉並における原水禁署名運動発祥についてです(裏面参照)。

参加の申し込み

- 1、参加費(資料代) 2日間共通で2000円(1日のみは1500円)、学生は2日間共通で1000円。当日受付けでお支払いください。
- 2、申し込み 全民研のHPからも申し込み可能です。会場設営の関係上、できるだけ事前にお申し込みください(当日でも可)。座席総数は50席です。申し込み・問い合わせは下記までお願いします(宿泊施設は用意していません。各自で対応願います)。メールアドレス gqy222x9@happytown.ocn.ne.jp 郵送・電話での申し込み

.....
1 月中間研究集会参加申込書

201 年 月 日

< ・両日参加 ・1月5日(木)のみ ・1月6日(金)のみ >

氏 名 _____ 会員 読者 未会員

住 所 _____

連絡先TEL _____